

予告

所蔵品展 No.171

夏休み特集「ようこそ！アニマル・ミュージアム」

Welcome to the Animal Museum

会期： 2026/7/18（土） ～ 8/23（日）
休館日： 月曜日（祝日は開館）
開館時間： 9時30分～17時00分（入館は16時30分まで）
観覧料： 一般：210円（160円）／大学生：100円（80円）

※（ ）内は、20名以上の団体料金。

※18歳以下の方は観覧料が無料。下関市と北九州市在住の方で、65歳以上の方は半額免除。（いずれも公的証明書の提示が必要）

● 展覧会について

美術作品のなかの動物たちは、いつも元気。茶目っ気たっぷりに微笑みかけてくれています。本展では、狩野芳崖、桂ゆき、香月泰男らの芸術家によって描かれた個性豊かな動物たちが展示室に登場。

あなたは何種類の動物に出会えるかな？さあ、まるで動物園のような美術館へ！

● みんなのどうぶつ in 日本画

当館所蔵の日本画に登場する動物たちにズームイン。トラ、サル、クジャクをはじめとする動物園で人気の動物から、狩野芳崖《鱗姫像》で抱きかかえられるイヌのような身近な動物まで。絵師たちが捉えた美しくもどこか愛らしい動物たちの姿にご注目ください。



狩野芳崖《鱗姫像》（部分）1860年

● ぬる・する・はる：どうぶつのカタチ

当館所蔵作品のうち、さまざまな素材や技法によって表現された動物にフォーカス。油絵、スケッチ、版画、コラージュ、さらには複数の技法を組み合わせた作品や貼り絵のように素材を絵具で再現した作品も。桂ゆき、藤田嗣治、香月泰男、宮崎進らの手によって生み出された動物の質感をお楽しみください。



桂ゆき《狐と狸》1973年

● フシギないきものずかん

当館所蔵作品のうち、既存の動物の枠におさまらないような生物がモチーフとなった作品をピックアップ。利根山光人《モンスター》（1957年、油彩・キャンバス）をはじめとする、作品世界ならではの好奇心をくすぐるフシギな生物が展示室に登場します。

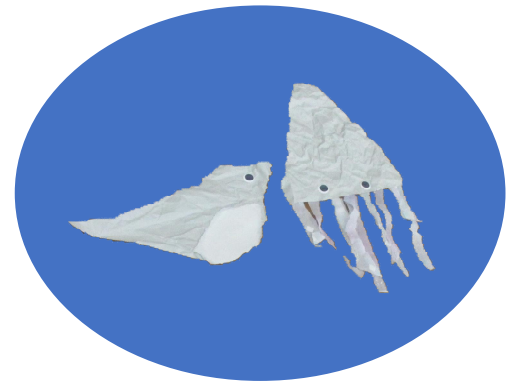
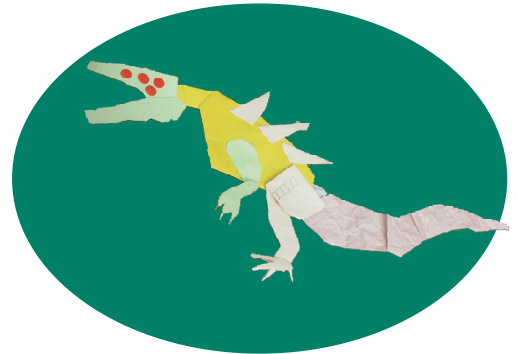
関連催事

● オープンアトリエ：ハギレモンスターをつくろう

紙や布などのハギレに目をつけて「ハギレモンスター」をつくってみましょう。
ハギレモンスターを箱に投函すると、所蔵品展 No.171 会期中、ほかのハギレモンスターたちと一緒に当館の展示ホール付近に掲示します。

日程	所蔵品展 No.171 会期中（7月18日（土）～8月23日（日））
場所	当館2階 展示ホール
備考	・ 申込は不要。※当日の所蔵品展観覧受付が必要。 ・ 小学校低学年までは保護者の同伴必須。 ・ 箱に投函したハギレモンスターは返却不可。

▼ハギレモンスター制作例



● ギャラリートーク

日程	7月20日（月・祝） 8月11日（火・祝） 8月16日（日）
時間・内容	①午前11時00分～ 親子向け 小学生以上の子どもとその保護者を対象とする回です。学芸員とともに作品の前でお話ししながら展示室を巡ります。
時間・内容	②午後2時00分～ 一般向け どなたでもご参加いただける回です。学芸員が展示や作品の見どころをご案内します。
備考	申込不要。 いずれも当日の所蔵品展観覧受付が必要です。



過去のギャラリートークの様子

下関市立美術館

Shimonoseki City Art Museum

（担当）所蔵品展171：久光、高村、片岡

〒752-0986 山口県下関市長府黒門東町1-1

TEL：083-245-4131 FAX：083-245-6768

Mail：kibijuts@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

HP：https://www.city.shimonoseki.lg.jp/site/art/